

2月中旬、梅も満開、中学校の早咲きの河津桜も開いて、春到来です。佐野原神社はピンク全開。さて、12月からのサクラソウの植え替えが終わりました。昔は鉢が凍り、植え替え仕事が滞ることがよくありました。やっぱり暖冬。

ニホンサクラソウ（日本桜草）清楚で美しく、ユニークな名前を持つ伝統植物です。

※鉢植えは2月から5月まで日なたで育てます。地上部が黄ばんできたら、明るい日陰に移し秋までなるべく涼しい場所におきます。

※水やり 表土がかわき始めたら、十分に水を与えます。

※肥料 植え替え時に元肥としてリン酸とカリウム分の多めの緩効性肥料を少量入れます。3月から4月に月1～2回草花用の液体肥料をうめて施します。

皆様のやり方があると思いますが、基本的な育て方です。

芽分け 2月の鉢の植え替えの際、大切な仕事です。

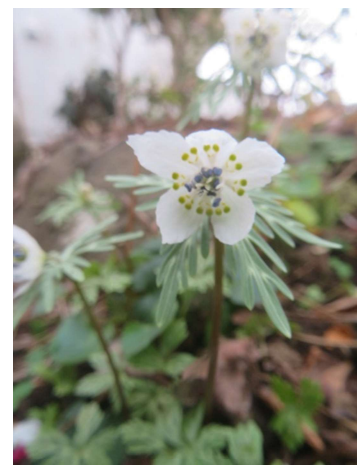
右の図 二つ大きな芽ができました。古い腐り根は除去して二つに分けます。5号鉢に新しい土半分位入れ、4芽を並べ、鉢の七分目ぐらいまで土をかぶせます。芽の大きい順に、一番芽、二番芽、三番芽といい二番芽ぐらいまでは花芽が付きますが、小さい三番芽以上には花芽がつきません。



暖かい日が続いたので、芽がいくつか出始め、開花へ胸がふくらんできます。それぞれのお庭で開花するのを待ちましょう。

さくらそうの会員・・・ 河崎昌夫、清水義信、清水宏明、渡邊文代、佐藤文子、鈴木和子、

○サクラソウ通信も7年で25号を迎えました。以前のものはブログ「富士山と花と山の四季」にのせてあります。そちらもご覧ください。原稿も募集しますのでよろしく。○



節分草 種がこぼれて群がって咲いてくれます